



新しい年が始まり、「あけましておめでとうございます」と少し照れながら、また誇らしげに挨拶をしてくれる子どもたちの姿に、職員一同、心が温かくなりました。寒さの厳しい日が続いていますが、元気に通所してくる子どもたちの笑顔は、私たちにとって何よりの励みです。

今年度も残り3か月となりました。一日一日の関わりを大切にしながら、子どもたちが「今日も来てよかった」と感じられる時間を積み重ねていけるよう、職員一同、丁寧な支援を心がけてまいります。

さて、新年を迎えたこの時期は、インフルエンザ等の感染症が心配されます。「育ち」では、通所時の検温、手洗いの徹底、活動部屋の換気など、基本的な感染症対策を継続して行っています。ご家庭におかれましても、手洗い・うがいをこまめに行い、よく食べ、よく寝て、免疫力を高めて体調管理につなげていただければ幸いです。 本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年4月から 「相談支援事業所 育ち」が開所します

これまで「育ち」では、他事業所の相談支援専門員の皆さまに大変お世話になりながら、子どもたちや保護者の方を支える立場として、日々の療育に取り組んできました。

支援の現場では、常に丁寧に関わってくださる相談支援専門員の存在に、多くの学びと支えをいただけてきたと感じています。

その一方で、「もっと身近に、相談できる場があったら」「日々の関わりをよく知る立場として、より早く、より深くつながれたら」そんな思いを、職員間でも重ねてきました。

このたび、職員が経験を積み、自社でも相談支援専門員の資格を取得できる体制が整ったことを受け、令和8年4月より『相談支援事業所 育ち』を立ち上げる運びとなりました。

相談支援事業所は、**お子さまの成長や生活に合わせて支援の方向性を整理し、保護者の思いを受け止めながら、園や学校、療育事業所、地域の相談窓口や支援機関などをつなぐ役割**を担っています。

「育ち」に相談支援専門員がいることで、日々の療育で見てきた子どもたちの姿や、保護者の方の言葉にならない思いを大切にしながら、より連携の強化につながり「育ちらしい」関わりができるのではないかと、私たちは期待しています。

『相談支援事業所 育ち』では、日々の困りごとだけでなく、その子らしさや可能性にも目を向け、悩みや将来への不安を一人で抱え込むことのないよう、「一緒に考える」ことを大切にしていきます。

これまで培ってきた『育ち』での療育の経験を生かし、子どもとご家族の思いに寄り添いながら、地域の関係機関とも連携しながら丁寧な支援を行ってまいります。



よくあるご質問 (Q&A)

Q1. 相談支援事業所って、どんなところ？

A. 療育や支援について、保護者の方と一緒に考え、必要な支援先や関係機関とつなぐ「相談の窓口」です。各関係機関とつながった後も、継続して相談できます。

Q2. どんなことを相談できますか？

A. 療育のことはもちろん、園・学校とのこと、将来への不安、支援の選び方など、「どこから話せばいいかわからない」内容でも大丈夫です。

Q3. いつ相談すればいいですか？

A. 「少し気になっている」「迷っている」段階で大丈夫です。困りごとが大きくなる前に、気軽に相談ください。



相談支援事業所 育ちの 相談支援専門員の想い

私が相談支援専門員になろうと
思ったきっかけは、自身の子育て
を通しての経験です。
日々の子育ての中では、思い通り

にいかないことや、さまざまな壁にぶつかることがあります。

そのような経験を重ねる中で、子どもを育てることの大変さや、悩みや不安を抱えながら子育てをしているお母さんたちの気持ちを、以前よりも身近に感じるようになりました。

「安心して、楽しく子育てをしてほしい」そんな思いから、悩みを一人で抱え込まず、気軽に相談できる存在として、お母さんたちをより近くで支えたいと思うようになりました。

また、これまで取得してきた言語聴覚士としての資格や経験を活かしながら、支援の幅を広げ、さらに成長していきたいという思いも、相談支援専門員を目指した大きな理由の一つです。

子どもとご家族一人ひとりの思いに寄り添いながら、その人らしい育ちと生活を一緒に考えていく支援を、これからも大切にしていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

各事業所より

第1事業所

①今月の行事

1月22日

避難訓練（火災）

②第1事業所では・・・

新年を迎え、子どもたちの元気な挨拶から活動がスタートしました。

「明けましておめでとうございます」と、職員やお友だちに挨拶をしたり、知らなかったお友だちにも声をかけて伝える姿が見られました。

中には、園に戻ってから挨拶をしていた子もあり、日々の活動が「知らなかったことを学ぶきっかけ」になっていることを感じました。

活動では、季節を感じられる遊びとして「福笑い」や「お正月バスケット（フルーツバスケットのお正月版）」を行いました。子どもたちの笑顔や笑い声があふれ、職員も一緒に大笑いしながら、楽しい時間を過ごしました。

今年も、子どもたちが「楽しい」と感じられる活動を大切にしながら、日々の支援に取り組んでまいります。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

第3事業所

①今月の行事

1月29日 避難訓練（火災）

②第3事業所では・・・

久しぶりの療育に少しソワソワしながらも、お正月の話題で会話がはずみ、楽しかった冬休みを名残惜しそうに振り返る子どもたちの姿が見られました。

第2事業所

①今月の行事

1月15日

避難訓練（火災）

②第2事業所では・・・

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

年が明け、事業所に来てくれる子どもたちの元気な姿を見ることができ、職員一同とてもうれしく思っています。

年末年始の過ごし方や、もうすぐ進級・進学を迎えることについて、子どもたちからたくさんのお話を聞かせてもらいました。

活動では、絵馬づくりやスライムを使った餅つき遊びなど、新年ならではの活動を楽しんでいます。令和8年も、子どもたちと一緒にたくさん笑い、楽しめる活動を計画しながら、職員も共に成長できる一年にしていきたいと思います。



第3事業所では、楽しかった思い出をお友だちと共有できるように、お餅つきや福笑い、獅子舞、こま作りなどを活動に取り入れました。

はじめは馴染みのない獅子舞に「なんだこれ？」という声も聞かれましたが、自分で作った獅子舞を使い、口をパクパクと動かしながら、お友だちとのやり取りを楽しむ姿が見られました。

寒さが厳しい季節ですので、ご家庭でもぜひ一緒に、玩具づくりなどの室内遊びを楽しまれてみてはいかがでしょうか。

